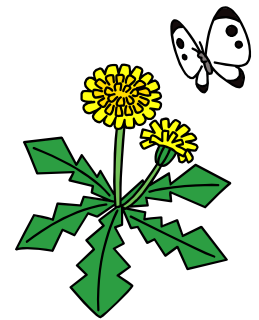




平成 24 年 5 月 8 日

感染症に気をつけよう



1. 全数報告感染症(感染症法1~5類感染症):4月の報告

腸管出血性大腸菌感染症の報告が2件ありました。いずれも詳細については調査中です。

A型肝炎の報告が2件ありました。2件とも、飲食物からの感染と推測されています。貝類を中心に、十分な加熱がされていない食物には注意しましょう。

その他、アメーバ赤痢の報告が2件、腸チフス、E型肝炎、マラリア、後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)、およびジアルジア症の報告が1件ずつありました。

4月は、海外での感染が推定される例が5例報告されました。海外では、国や地域ごとに流行している感染症が異なります。海外渡航の前には、あらかじめ検疫所ホームページで、感染症流行状況を確認しましょう。厚生労働省検疫所：海外で健康にお過ごしいただくための情報サイト <http://www.forth.go.jp/>

定点報告感染症(感染症法における5類感染症)

平成 24 年 3 月 19 日～平成 24 年 4 月 22 日

疾患名	市内流行状況	コメント
<u>感染性胃腸炎</u>	▲ →	市内全体としては落ち着いていますが、一部地域では流行が継続しています。今年の発生数は、過去5年間でも一番高い水準です。手洗いや、食品の加熱に十分注意しましょう。

★大流行 ◎流行 ●やや流行 ▲散発 ×市内発生なし
 ↗増加 ↘やや増加 →横ばい ↖やや減少 ↙減少

2. 今気をつけたい感染症

E型肝炎：E型肝炎ウイルスに汚染された水や食物を摂取することで感染する肝炎で、症状は全身倦怠感、食欲不振、発熱、黄疸などです。妊婦が感染すると重症化することがあり、特に注意が必要です。海外の流行国を旅行した際に飲み水などが原因で感染するケースと、国内で獣肉や生肉を食べるケースが多く報告されています。海外では、中国・インド・ネパール・パキスタンなどのアジアの国々、メキシコ、中東・アフリカの国々で流行しているので、感染予防のためには生水の摂取等に注意が必要です。国内では、獣肉、生肉や内臓を食べる際に十分加熱することが大切です。

「感染症に気をつけよう5月号」は、平成24年4月26日の横浜市感染症発生動向調査委員会の内容を市民向けに加工したものです。詳しくは、[委員会報告](#)をご覧ください。

市内感染症に関する詳しい情報は、[感染症発生状況](#)をご参照ください。

また、衛生研究所では、一般の方用の[パンフレット](#)の作成もしていますので、併せてご利用ください。

横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課(横浜市感染症情報センター)

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/>

